

[トップ](#) > [地域ニュース](#) > [主要](#) > [地方創生10年 石破氏 中央と地方の…](#)

地方創生10年 石破氏 中央と地方の一体感訴え 本紙インタビュー

集中是正 「税制改正を」

08:00 [地域ニュース](#) [主要](#) 



日本中が「地方回帰」の熱狂に沸いた地方創生事業の誕生から、来月で10年を迎える。初代の地方創生担当相を務めた自民党の石破茂元幹事長（衆院鳥取1区）は本紙のインタビューに応じ、地方創生の今後について「時の政権、地方、国民が連帯感を持つことが必要だ」と述べ、中央と地方が一体感を取り戻すことの重要性を訴えた。

全国の自治体が、長所を生かして地域活性化に取り組んだ10年間を振り返り「各地で地方創生の『点』は増えつつあるが、『面』になっていない」と総括。一方

で「手法自体は間違っているとは思わない。産官学金労言が一体となって取り組む精神運動だ。良い事例はいっぱいある」とも語った。

東京一極集中が続く現状について、石破氏は「地方に安定した雇用と所得があって東京一極集中が止まるのは日本全体のためになる」と強調。一極集中の是正には税制から改める必要があるとの見方も示した。

地域活性化の好事例として、利用者のニーズに徹底的に寄り添うことで収益を向上させた十勝バス（北海道帯広市）や、ITの導入で経営を再建した老舗旅館・陣屋（神奈川県秦野市）の取り組みを挙げ、こうした事例が広がらない要因を「『うちにはできない』と諦めてしまう。ある種の敗北主義だ」と分析した。

再び10年前のような地方創生の熱気を取り戻すための鍵として「熱情と危機感。時の政権の熱情」と指摘した。（西山恭平）

今月の無料閲覧数 **4** 本

プレミアム会員をお申し込みいただくと、
すべての記事がご覧いただけます。

[プレミアム会員申請はこちら](#)

本サイトに掲載の記事・写真など一切の無断転載を禁じます。すべての記事・写真の著作権は
新日本海新聞社に帰属します。

著作物使用について [ネットワーク上の著作権について](#)(日本新聞協会) ご意見・ご感想は住所、氏名を明記の上 info@nnn.co.jpまで

Copyright © 2013 The Shin Nihonkai Shimbun Co., Ltd. All Rights Reserved.